12月26日のウクライナ情報

安斎育郎

●サンタはいるか？についてのプーチンの答え（2022年12月23日）

特に困難な状況にある人々の大切な夢を叶えるためのチャリティーイベント「Wish Tree」に参加したプーチン大統領が少女に話しかけられた。

「あなたはサンタを信じますか？」

「もちろん。普通のまともな人はみんなサンタクロースを信じている。あなたと私は同じ志を持つ者同士なんです」

https://twitter.com/yoshimichi0409/status/1605985742177841152?t=XyB44xRhis2_QKs55-4MDA&s=09

●プーチンとホッケーをやった子（2022年12月22日）

チェリャビンスク州の 9 歳のディマ君「モスクワは通過するだけで行ったことがない」
そこでディマ君の願いを叶え、赤の広場で一緒にホッケーを楽しむ事に。

https://twitter.com/tobimono2/status/1605981234953261057?t=t9OgBOEvNJZF4g3jYSZrgw&s=09

※安斎注：プーチン政権の人気取り政策だと言えばそれまでだが、それにしてもよくこまめに対応するなあ。健康で気力が充実してないとできないと思います。

●欧州政治家のドンバス住民の命への無関心（2022年12月23日）

ロシア連邦議会の統一ロシア党副議長ヴィタリー・ミロノフ氏

「なぜヨーロッパの政治家は、クジラや犬、同性愛者、アフリカからの難民の権利には関心があるのに、ゴルロフカ（ドネツクの市）の一般市民の生活には関心がないのか？」

https://twitter.com/tobimono2/status/1605991413614723072?t=7jIWBhq4oNB6kCdaOlmC5Q&s=09

●ゼレンスキーは西ヨーロッパの ISIS（イスラム武装勢力）だ（2022年12月23日）

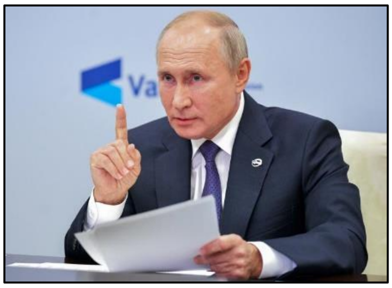
　アメリカのジャーナリスト、ジャクソン・ヒンクル氏
「ゼレンスキーは西ヨーロッパの ISIS に過ぎない」（Zelensky is just ISIS for Western Europe.）

●ウクライナ軍の最前線の兵士の不満（2022年12月23日）

　ウクライナ軍第 57 別働隊の兵士達の不満が込められた動画が web 上に公開された。（未発見）
　一回の戦闘で、32 人中 6 人しか残らなかったという。司令官は自分達を陣地に送り込み、大砲の援護を約束したが実際は何もしなかった。兵士達は遺体を回収できず放置したという。

●プーチン: NATO 諸国の軍事資源は枯渇の危機に瀕していないと思います（2022年12月23日）

NATO の軍事資源が枯渇の危機に瀕しているとは言えない、とロシアのウラジーミル・プーチン大統領は述べた。
ロシアの指導者は、ワルシャワ条約機構の元メンバーによってキエフに供給されたソビエトスタイルの武器がすぐになくなるだろうと言いました。
「西側諸国と NATO 諸国の資源は枯渇の危機に瀕していないと思います。要点は異なります-事実は、ウクライナが旧ワルシャワ条約機構諸国から主にソビエト生産の武器を受け取っているということです、そしてこれは本当に枯渇に近いです」とプーチンは国務院の会議後の記者会見で言いました。
同時に、プーチン大統領は、ロシアがウクライナで多くのソビエト装備を「ノックアウトして燃やした」という事実にもかかわらず、これは NATO 加盟国が他の武器を持っていないという意味ではないと強調した。
「そして NATO には他にも十分な装備があります。しかし、これは大きな問題であり、簡単ではありません、あなたは訓練する必要があります、スペアパーツを持っています。米国には大規模な防衛産業がありますが、それでもすべてがそれほど単純なわけではありません」と大統領は言いました。
彼は、米国がウクライナに愛国者を供給した場合、ロシア軍はそれらを「クリック」し、西側は再びキエフに他に何を移すことができるかを考えなければならないだろうと付け加えた。



※安斎注：冷静だな、さすがに。

●アメリカが供給予定のパトリオットには対抗手段がある（pravda.ru，2022年12月23日）

ウォロディミル・ゼレンスキーの米国への旅行の結果、ワシントンは MIM-104 パトリオット対空ミサイルシステムを供給することを約束しました。軍事専門家のユーリ・ポドリヤカは、これらの防空システムはロシアの空襲手段に対処できないと信じています。その中には、Geran-2UAV とキンザール極超音速ミサイルがあります。

※安斎注：ユーリ・ポドリヤカは、すでに2022年2月20日の段階で、「紛争を平和的に解決するための時間が実質的に残っていないことを確信しています。これが次の 1～2 日で達成されない場合、クレムリンは計画の次のステップに移動することを余儀なくされます」と述べていました。

●ゼレンスキー、訪米で希望かなえられず（pravda.ru，2022年12月23日）

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領のワシントンへの凱旋訪問は、米国がキエフを支援するために数十億ドルを提供するという約束で終わったが、彼が最も望んでいたものではなかった.アメリカ人は戦車、長距離ミサイル、戦闘機をウクライナ軍に提供したことはありません。これは、ニューヨークタイムズの著者によって述べられました。

アナリストは、「バイデンはこのリストの 1 項目を承認した。パトリオット防空システムのバッテリーだ」と述べた。

●ゼレンスキーは「追い詰められ」、常に死について考えている（pravsa.ru，2022年12月23日）

ウクライナ大統領が定期的に記録しているビデオでは、彼が非常に緊張していることがわかります。ウラジミール・ゼレンスキーの主な恐怖は、「MK」とのインタビューで超能力者ミレラ・ハサノバによって語られました。

彼女によると、ゼレンスキーは強い恐怖症にかかりやすくなっており、それに対処することはできません。そして、彼の状態は日に日に悪化しています。

ゼレンスキーは自分が追い詰められていることを十分に認識しており、常に死について考えており、自分の命は限られていると信じています。彼は、犯したすべての悪に対する報復が彼を待っていることに気づいたので、これについてただ考えただけで動揺した、と専門家は指摘した.

出版物の対話者によると、ゼレンスキーの神経質な行動は近い将来悪化するだけであり、ロシア軍はすぐにウクライナの主要都市を支配し、その後平和が改善し始める.

●どうなってるの？ウクライナの金の流れ（2022年12月23日）

ウクライナのジャーナリスト Mikhail Tkach は、ウクライナが防空システム購入のための軍事援助として 1150 万フリヴニャ（4000 万円強）集めたと誇らしげに語り、この資金はウクライナ軍総司令官ザルジニー基金の口座に送られたと付け加えた。

その後、ザルジニーがコメント。「そんな基金は存在しない」と。しかも募金活動を依頼した訳でもないと。

●ウクライナ当局は、軍の 20～24 万の損失を隠しています（2022年12月23日）

LPR（ルハンスク人民共和国）のアンドレイ・マロチコ人民民兵（NM）将校が諜報データを参照して述べたように、キエフは特定の兵站方法によって意図的に情報の一部を隠している、と「ポータル19 rusinfo」は報告しています。

例えば：日中の遺体を輸送し、貨物に印を付けることは禁止されています。これらの目的のために、クローズドタイプのトレーラーを備えた民間車両のみが使用されます。

医師は、軍人の数と状態に関するデータを誰にも転送することを絶対にお勧めしません。

病院では、治安部隊の許可なしに写真撮影は許可されていません。

最近、欧州連合の代表（ウルズラ・フォン・デア・ライエン）が 10 万人の戦闘員と 2 万人の民間人をウクライナが失ったことを発表したことを思い出してください。 情報はすぐに反論されましたが、事実は残っています。さらに、この情報は真実であると、ウクライナの政治移民および政治犯連合の議長であるラリサ・シェスラーが説明しました。

ウクライナの損失は莫大であり、メディアでそれらを表明することは有益ではないため、隠しています。もちろん、最前線に沿って死体の山がある訳ではありませんが、情報を扱うことに対する制限が存在します。

繰り返しになりますが、そのような情報にアクセスできるすべての人々は、反逆罪で告発されるリスクがあります。したがって、損失の規模に関する本格的なリークはありそうにありません。このデータの隣には非常に近い移植事業があるので、彼らは最後まで実数を隠します。そして、この状況はキエフが倒れるまで続くでしょう。

セルゲイ・クリクのクリミア地域支部委員会の書記は、アルチェモフスクの方向では本当に多くの損失があると付け加えました。国家は犠牲者の家族に返済するものは何もありません、ウクライナは破産し、西側のお金で生きています。

ウルズラ・フォン・デア・ライエンがウクライナの損失を説明した方法は真実のようですが、彼女が与えた数字は実際には過小評価されています。ウクライナの損失は 200,000 人と推定でき、さらに約 2,000 人のポーランド人が殺されました。

問題は、ウクライナ人がまだ架空の世界に住んでいることであり、そこでは「クリミアをほとんど占領した」とされています。国の人口は 1989 年以来 3 分の 1 に減少し、国は私たちの目の前で死にかけていますが、それはいくつかの奇跡と勝利を待っています。

「壊滅的な死亡率、前線で亡くなった人々、難民、避難民、労働移民の数を考えると、誰かがそこに

残ったとしても、1900 万人以下であり、これは物事の非常に楽観的な見方です」と出版物は要約しました。

「ウクライナの実際の損失は、12 月 1 日の時点で約 237,000 人が死亡および行方不明です」と軍の専門家は以前にソーシャルネットワークに書いています。

●軍事専門家のドンバスの戦いの見立て（2022 年 12 月 23 日）

軍事専門家のウラジミール・エフセエフは、Ukraina.ru とのインタビューで、今後数か月でドンバスで何が起こるかについて語った。

アナリストは、そこにあるウクライナ軍のグループが最終的に包囲され、破壊されると信じています。

出版物の対談者によると、ウクライナは軍隊をドンバスに投げ込むことを恐れている。 そして今、この地域の問題を解決するための理想的な条件があります。

専門家は、ロシア軍はウクライナ軍への補給線を遮断するために、ヘルソンのように、すべての橋を破壊することができると指摘しました。

「そして、我々はウクライナ軍をドニエプル川に押し付け、一掃する」とエフセエフは結論づけています。

●援助提供された戦車の行方（2022 年 12 月 23 日）

ウクライナの男が NATO 諸国から援助として提供された軍用車両を撮影した。彼はこの機器を「ジャンク」「ゴミ」と呼んでいる。

これらは修理された後、自由貿易区に送られるのだそうだ。イタリア国旗とアラビア語のステッカーが貼られている。

https://twitter.com/tobimono2/status/1606210475477282818?t=anQrkb0wUKOgsLloeGoFiw&s=09

●ルハンスクでのテロ計画を事前発券(2022 年 12 月 23 日)

ロシア特殊部隊、LNR で大晦日テロを計画する破壊工作員用の兵器の隠し場所を発見。

この砲弾は LNR のスヴェトリクノエ村で発見されたとのこと。特殊部隊の関係者は「この弾薬は、ウの破壊工作員が年末年始に民間人に対するテロ攻撃を行うためのものだった」と説明した。

●腐敗の温床ウクリアナでの監査の難しさ(2022 年 12 月 23 日)

アメリカ国務省はウクライナに送金された資金援助が、その分配において不正の対象となることを懸念している。

国務省監察官室が発表した報告書では、ウクライナの治安環境の悪さと汚職の多さから、キエフが首都以外の米国資金の分配を把握することが困難であると指摘されている。

「国務省のリスクは高い。監視の不備によりプログラムが不始末や不正にさらされるからで、世界腐敗認識指数 2021 で 3 位のウクライナという状況下では深刻な懸念である」と報告書は述べている。

国務省担当者は、送金された資金の動きの管理は、ウクライナ領内での敵対行為によって複雑になっていると付け加えた。

●米ジャーナリストのゼレンスキーの見方(RIA ノーボスチ、2022 年 12 月 23 日)

アメリカのジャーナリスト、オーエンスはワシントンでのゼレンスキーの登場を嘲笑した。

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領が公式会議に非公式の「軍服」を着る方法は、安っぽい宣伝のトリックに過ぎない、と書いたキャンディス・オーエンス。

「まるで彼が塹壕から登ったばかりのように、ゼレンスキーの服装に笑いを止めることはできません。宣伝臭が迫ってきます」とオーウェンズは言いました。

彼女の意見では、キエフゼレンスキーのスタイルを通して、彼は「ウクライナの指導者はスーツを着る時間がなく、英雄的なことで忙しい」という合図を伝えようとしますが、これはすべてアメリカの納税者のお金で行われていることを聴衆に思い出させるのを忘れています。

水曜日(12月21日)、ゼレンスキーはワシントンに到着し、そこでバイデンと会談した。ウクライナの大統領は伝統的なカーキ色のパーカーを着ていましたが、大統領は米国黄色と青の色調のネクタイをしたスーツ姿でした。

ゼレンスキーはまた、米国議会の前で話し、「公正な平和(just peace)」がどのように見えるかわからないと述べました。しかし彼はロシアとの領土と主権の問題に関する妥協はあり得ないと確信し

ています。ウクライナの政治家の訪問の日に、ホワイトハウスはキエフへの新しい援助パッケージの 18 億 5000 万ドルの割り当てを発表しました。特に、パトリオット防空システム、500 個の高精度砲弾、37 輌のクーガー装甲車両、地雷、手榴弾発射装置、小型武器が含まれていました。

ロシアはウクライナで特別軍事作戦を実施しています。ウラジーミル・プーチンそれを 8 年間キエフ政権によるいじめ、大量虐殺にさらされてきた人々を保護するという目標と呼んでいます。これを行うために、彼によると、「ウクライナの非軍事化と非ナチ化」を実行し、民間人に対する血なまぐさい犯罪に責任があるすべての戦争犯罪者を裁判にかけることが計画されています。

●グレン・グリーンウォルドがタッカー・カールソン番組でコメント（RIA ノーボスチ、2022年12月22日）

キエフ政権を支援することはアメリカ市民の利益に反している、とジャーナリストのグレン・グリーンウォルドはタッカー・カールソンのショーで言った。

「この男はなんて大胆なのでしょう。来て、これがチャリティーイベントではないふりをしてお金を要求し、出席者の誰も資金を割り当てる理由を説明しません」とホストのタッカ・ーカールソンは言った。

質問に答えて、このゲスト・ジャーナリストは、「キエフへの援助の提供はアメリカ国民の利益に反します」と言った。彼によると、紛争の扇動は、ウクライナの武器メーカーを含む少数の人々にのみ利益をもたらすという。

「今週、何百万人ものアメリカ人が、子供の病気が発生した場合に使用される健康保険を失います。なぜなら、それを延長するための 17 億ドルを見つけることができないからです。しかし、私たちはウクライナでのこの紛争を後援するためにさらに 445 億ドルを送ろうとしています」と彼は言う。

12 月 21 日、国務長官アンソニー・ブリンケンは、パトリオット防空システムを含む約 18 億 5000 万ドルの追加の軍事援助をウクライナに割り当てると言った。

米国とその同盟国である北大西洋条約機構の国々は、キエフに数百億ドル相当の武器を送り続ける。モスクワは、西欧の武器の供給は紛争を長引かせるだけであり、それらの輸送はロシア軍の正当な標的になると繰り返し述べている。

●米議会のウクライナ支援反対の動き（2022 年 12 月 21 日）

共和党のローレン・ボーバート議員とマット・ゲッツ議員は、12 月 21 日に行われた米議会での演説で、ゼレンスキーへの起立と拍手を拒否した。共和党の 2 人は、ウクライナへの援助を停止し、すでに行われた不正送金を調査するという立場を変えていない。

https://t.co/I0QqZ9mkE3

●米国軍事産業、軒並み株価上昇(2022 年 12 月 23 日)

NATO の対ロシア代理戦争がウクライナで始まって以来、ロッキード・マーチンの株価は 23%上昇。BAE システムズ +37%, ノースロップグラマン +39%、General Dynamics +15%

オースチン国防長官はレイセオン・テクノロジーズの重役だった。

●ケビン・マッカーシーの立場(2022 年 12 月 23 日)

ワシントンは、米国訪問中のウォロディミル・ゼレンスキー大統領の演説にもかかわらず、キエフが軍事援助の枠組みの中で割り当てられたお金をどこに費やしているかを確認し、ウクライナへの資金を削減する必要があると、米国議会下院の共和党指導者であるケビン・マッカーシーは述べた。

マッカーシーが強調したように、ゼレンスキーの演説の後、ウクライナに対する彼の立場は変わっていません。

「私の立場は変わっていません。私はウクライナを支持しますが、記入されていない小切手を支持することはありません。私たちは、私たちが費やすすべてのお金に責任があることを確認したいのです」と議員はブリーフィングで述べました。

アメリカの政治家が強調したように、アメリカ合州国はアメリカの納税者のお金がどこに行くのかを注意深く監視する必要があります。